

総合大雄会病院で入院された患者様・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

研究の題名：A病院における褥瘡の発生要因および看護ケアの現状把握とその関連性

研究期間：2022年11月～2025年3月

研究の対象：2022年11月～12月末までの新入院患者で入院日数4日以上

の患者
入院時に行う危険因子評価にて、点数が1点以上の患者を褥瘡リスクがある患者として研究対象とする。

研究責任者：総合大雄会病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 加島 泰子

【研究の意義と目的について】

当院に入院される患者様の多くは、急性期治療から慢性期治療を必要とされている方が入院されています。入院生活において治療による安静制限や疾患、高齢によりなんらかの身体的支援・介助が必要となる方がいます。安静制限やご自身で体位変換ができない場合、褥瘡（床ずれ）の発生リスクが高くなります。褥瘡が発生しないように、患者様に関わるスタッフは褥瘡発生の予防に日々努めていますが、褥瘡を発生してしまう場合があります。

そこで、本研究は、総合大雄会病院における褥瘡発生のリスクが高い患者様の要因を調査し、現在の看護ケアの実際を結びつけて、当院における褥瘡発生の具体的な褥瘡予防対策が推進できることを目的としています

【研究の方法について】

本研究では、診療録を利用し、年齢、入院時BMI、疾患、入院時検査値（アルブミン(Alb)、総蛋白(TP)、ヘモグロビン(Hb))、入院時栄養状態、危険因子評価票の合計点数、経管栄養の有無、エアマット使用の有無を調査します。

※危険因子評価票の合計点数項目

- ・自力体位変換の有無
- ・座位姿勢の保持、除圧有無
- ・骨突出の有無
- ・関節拘縮の有無
- ・栄養状態低下の有無
- ・皮膚浸潤の有無
- ・浮腫の有無
- ・皮膚の脆弱性有無

【個人情報の取り扱い】

データを使用する際は、個人情報が外部に漏れないように厳重に管理いたします。また、学会等で公表する際にも、個人が特定されないような形で使用されます。

【お問い合わせ等について】

本研究への協力は、患者様ご自身の自由意志にもとづくものです。本研究に自分のデータを使用されることを希望されない方は、その旨をお申し出で下さいますようお願い致します。本研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

その他、研究へのご質問等がある場合は、下記の連絡先までお問合せ下さい。

【お問合せ等の連絡先】

総合大雄会病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 加島 泰子

愛知県一宮市桜一丁目9番9号

電話：0586-72-1211